目黒稲門会会報

（題字：眞仁田　勉　初代会長）

第63号　2014年6月

発行人：大野　利幸　編集長：地田　博昌　事務局長：吉本　政治

事務局：〒152-0031　目黒区中根1-15-4　Tel 03-3725-3700

設立15周年2014年定時総会開催のご案内

2014年目黒稲門会定時総会を、下記の通り開催致します。公私ともご多用の中と存じますが、奮ってご参加のほどお願い申し上げます。

総会では、2013年度事業実績報告、決算及び監査報告、2014年度事業計画、予算案、役員改選案等の審議を予定しております。

第２部の懇親会では、本邦初の職業バグパイプ奏者・加藤健二郎氏（昭和60年　理工）をお招きし、演奏をお楽しみ頂きます。

今回は設立15周年記念事業として　①映像による当会の歴史を紹介　②大学史資料センターへの会報の寄贈（３月28日実施済）　③加藤元会長随筆集の発刊を予定しています。

なお、ご参加の皆様には、クールビズ、スーパークールビズにてご参加賜りますようご案内申し上げます。

記

1．日　時　2014年７月13日（日）
　　受付開始　　15時30分
　　総会・懇親会　　16時～19時

2．会　場　目黒雅叙園　２階　華しずかの間
　　目黒区下目黒１－８－１
　　TEL　03－3491－4111（代表）

3．交　通　JR山手線、東急目黒線、地下鉄南北線、三田線、目黒駅下車徒歩５分
　　東急バス権之助坂・日の出学園下車３分
　　目黒駅からの迎えバスの運行はございません。雅叙園よりの送りバスの運行がございます。

4．会　費　10,000円、ご同伴家族5,000円
　　当日会場受付にてお支払い下さい。
　　当日キャンセルの場合、予約の都合上、会費のご負担をお願いします。

5．ご出欠　会報に同封の葉書にて、６月27日（金）までにご連絡下さい。

（田島　記）

加藤健二郎氏略歴

軍事ジャーナリスト、プロバグパイプ奏者。

1961年　兵庫県尼崎市生まれ

1985年　早稲田大学理工学部卒

1988年～2003年　軍事ジャーナリストとして、世界各地の戦場で取材。

2004年　日本初の職業バグパイプ奏者として活動開始。各地の稲門会出演、テレビ出演の他、三陸海岸～福島の震災被災地域へ支援訪問等、多方面で活動中。

各部会からの案内・報告

ゴルフ部会

ゴルフ部会が発足して今年で15年目を迎えます。

去る４月23日（水）第34回ゴルフ部会を栃木県鹿沼カントリー倶楽部において開催しました。当日は好天に恵まれ爽やかな新緑の中23名が参加、溌剌と元気にプレーしました。

優勝　大杉邦雄（23回大会以来５年ぶり）、２位　大野幸子氏（鹿沼ＣＣのメンバー）、３位　吉本政治氏（前回優勝者）という結果になりました。表彰式、往復のバスの中、ワイワイと楽しい１日を過ごしました。

次回は、10月23日（木）、茨城県のサミットゴルフ倶楽部において開催致します。

ゴルフ部会長　　大杉邦雄

グルメ部会

２月５日（水）にグルメ部会を実施しました。今回はちゃんこ鍋で、お店は東銀座の「相撲茶屋　佐賀昇」です。超高級料亭「金田中」のお隣という立地にふさわしく、建物の内部も立派できれいでした。

この日はとても寒い日で、ビールは乾杯だけで、すぐに日本酒です。先付け、酢の物、刺身、茶碗蒸しとどれもおいしく、お酒の追加注文が相次ぎました。

ほどよく身体が温まったところで、ちゃんこ鍋に火が入りました。豚の三枚肉、鶏の団子に豆腐と野菜が豊富に入っています。味は塩味なのですが、単なる塩味というのではなくて、何とも微妙な味わいです。皆さんからも「おいしい！」という声があがりました。

鍋に入れた、締めのうどんもおいしく、お腹が一杯になりました。

参加者は12名でした。

４月13日（日）の早慶レガッタ終了後に浅草の「川松別館」でグルメ部会を開催しました。

開会に先立って、お店のオーナー（元台東稲門会会長　90歳）からご挨拶と乾杯用のビールの差し入れがありました。

紅一点の女性参加者・澁谷美香会員が翌日がお誕生日ということで、乾杯ではお誕生日をお祝いしました。

和風のきれいなお部屋に低いテーブルと椅子が配されており、先付け、煮物、刺身、茶碗蒸し、天ぷらなどをおいしくいただきながらお酒と和やかな歓談が進みました。

また、漕艇部OBの井村正陽会員から早稲田の敗因分析とレース間隔が40～50分取られているのは水面の落ち着きを待つために必要とのお話がありました。参加者は相模原稲門会を含めて22名でした。

グルメ部会長　　猪名川一雄

美術・歴史鑑賞部会

第45回の鑑賞会は、３月26日（水）目黒区美術館に10時45分集合。「岡田謙三＆目黒界隈のモダンな住人たち展」を参加者14名で鑑賞しました。

自由が丘にアトリエを構え活動していた岡田謙三（1902～1982）を中心に、目黒界隈に住む作家たちを取り上げた美術展でした。

宮田武彦（柿ノ木坂）、赤穴宏（平町）、井出宣通（五本木）、鶴岡義雄（上目黒）、荻須高徳（中町）等の日本を代表する目黒に関係する作家の作品が紹介されていました。

目黒川の桜は、まだ一枝に１つぐらいしか咲いていませんでしたが、桜見のための提灯が飾られて満開を今か今かと待っている感じでした。

ランチは、目黒川の近くにあるイタリアン・レストラン「ラ・ガレリア・ダ・バッシーノ」。大変美味しく、感じの良いレストランでした。

次回は、「台北　国立故宮博物院―神品至宝」展（東京国立博物館）７月２日（水）を予定しています。

美術・歴史鑑賞部会長　　後藤克彦

俳句部会

第62回「萩句会報告」

日時　2014年３月21日（金）14時～17時（順不同）

保井寶正　春一番丹精の鉢薙ぎ倒す
牧野里山　路地の奥ショットバーにも春が居り
青木英林　左右確かめながら雛飾る
後藤克彦　春耕の鍬ふり二日腰痛む
佐久間喬　春一番用水堀の鯉はぬる
永井正孝　水温みゆらりゆらりと蝌蚪のひも
吉田啓悟　春の風邪診察券をさがしをり
佐久間たか子　潤む眼に浸みいる光春の風邪
佐伯武雄　春浅し見送る母の白き顔
（参考）
佐藤喜仙　青春の書を読みかへす春の風邪

俳句部会長　　佐藤喜孝

（佐藤喜孝様は５月18日、逝去されました）

旅行部会

―「高遠の桜」見てきました―

旅行部会は4月20日（日）と21日（月）の1泊2日で長野県伊那市「高遠の桜」、飯田市「杵原学校の枝垂れ桜」、山梨県北杜市「山高神代桜」を見てきました。今回もクラブツーリズムの主催旅行を買い、目黒稲門会としては13名でしたが、全体では32名の旅行団として参加しました。

20日午前8時新宿発スーパーあずさ5号のグリーン車に乗車。茅野にて下車、足元ゆったりバスにて伊那の「高遠の桜」を目指しました。駅ではちょっと寒さに驚きましたが、高遠では薄日も射し絶好の花見日和となりました。桜は満開後4日目で全山花だらけ、人だらけの最高の花見となりました。

花見の後、伊那谷から木曽路への道を辿り、4時に南木曽温泉の宿「ホテル木曽路」に到着。温泉でゆっくりと汗を流し寛ぐ。6時よりツアーとは別会場にて素晴らしい夕食をとり、お酒もすすみました。

2日目9時ホテル発、飯田の昔懐かしい木造の杵原学校の枝垂れ桜を見学。花はすでに散っていましたが、学校で歴史と音楽の授業を受け全員が小学校時代に戻った気分でした。

昼食は上諏訪の「ホテル紅屋」でちょっと優雅なフレンチを賞味。その後、山梨県北杜市を目指し、日本三大桜のひとつ「山高神代桜」を見学。日本最古の桜と言われ国の天然記念物に指定され、日本武尊が東征の帰途に植えたという伝説からこの名がつきました。しかしながら花はすでに散っており、幹は10数本の添え木に支えられ、包帯を巻かれた状況に「要介護5」だねと話し合いました。それでも満開の写真を見るとまだまだ凛とした雰囲気を感じ、さすが「神代桜」と感心した次第です。

午後3時55分甲府発スーパーあずさ22号のグリーン車にて帰途につき、新宿5時24分着、解散。

2日目の午前のみ若干の雨となりましたが、概ねまあまあの天気に恵まれ楽しい旅を終了しました。

旅行部会長　　井村正陽

ウォーキング部会

今年の夏は暑くなるのかならないのか。皆様の体調は如何ですか。一緒に元気に楽しく歩きましょう。

実施報告

3月例会：3月18日（火）二ヶ領用水を歩く
　　参加10名

4月例会：4月15日（火）桜草の浮間公園から大河の趣のある荒川沿いを歩く　参加9名

天気は快晴。埼京線の浮間舟渡駅をスタート。駅正面の浮間公園の東側を進み、浮間ヶ原桜草圃場に寄り、まだ二分咲きの桜草を鑑賞。圃場を出て階段を登ると荒川の景観が待っている。土手を降りて河口へと歩き、赤羽ゴルフ倶楽部のコースを見ながら更に進みJR線の鉄道橋をくぐると右手の土手に見事な芝桜が見える（写真）。国道の橋をくぐると旧岩淵水門が見えてくる。現在は下流に新水門が出来たので歴史的建造物として保存されている。近くには荒川治水資料館があり、難工事を示す写真や道具の展示は見ごたえがある。JR赤羽駅への帰路の途中、東京23区内に唯一残る酒蔵（メインの銘柄：丸眞正宗）として有名な小山酒造（元早稲田大学総長、元目黒稲門会顧問の小山宙丸氏のご実家）を訪れた。

明治11年に発見されたとされる酒造に適した湧水を飲みながら酒造りの工程の説明を受けた。

5月例会：5月20日（火）　昭和記念公園、谷保天満宮を歩く　参加11名

今後の予定

6月例会：西葛西から江戸川区自然動物園と葛西臨海公園へ
　　日　　時　6月14日（土）　午後1時
　　集合場所　東京メトロ東西線西葛西駅
　　北口改札外

7月例会：殿ヶ谷庭園から姿見の池
　　日　　時　7月15日（火）　午後1時
　　集合場所　JR国分寺駅　南口改札外

8月例会：休会

9月例会：小金井神社から滄浪泉園まで
日　　時　9月2日（火）　午後1時
集合場所　JR武蔵小金井駅　改札外
以上小雨実施です。

ウォーキング部会長　　牧野武夫

若木会

桜の季節となり、毎年恒例の花見会を「心の若木会」イベントとして、先輩方にもご参加いただく形で3月22日（土）に開催しました。

昨年の桜の開花が予報に反して例年になく早かったため、今年もそうなるとの予測を立てて早めの開催を計画して実施しました。しかし、今年の桜は予報を裏切ることなく咲いてしまったため、開催当日の目黒川沿いの桜並木には桜のつぼみのみとなってしまいました。

当日は16時に中目黒に集合し、目黒川沿いをそぞろ歩きし、開花している桜の花を探して散策したところ、下の写真にあるように山桜で満開に咲いている場所もあり、花見として成立することができました。

散策が終わった後は、中目黒駅近くの「トンde目黒」にて花見酒を堪能しました。前日に桜がないことを確認したため、急きょお花屋さんにて桜を購入し、お店に持ち込みをさせていただいてその花をめでてお酒をみんなで堪能しました。ただ、当日諸先輩方の心を鷲掴みしたのはなんと桜ではありませんでした。

当日には若木会に参加していただいている親子や現役学生にも参加していただき、平均年齢が非常に低くなりましたが、その中でも2歳の男の子が参加してくれて、諸先輩方はその若々しい存在に心奪われ、普段の目黒稲門会の会合では見せることのない「じーじ」の顔をのぞかせていました。

今後も今回のように若手中の若手も呼びつつ、普段は見ることのない先輩の顔を見られるような会も企画していこうと考えております。

若木会部会長　　中西元樹

早稲田スポーツ観戦部会

――2014早慶レガッタ観戦――

好天気に恵まれた4月13日（日）、隅田川で行われた早慶レガッタ定期戦を15名の会員と応援観戦に行きました。第2エイトがスタート前、荒波を受け沈没し中止となり、その影響でOB戦も中止となりましたが、メインレースの第1エイトは時間通り行われました。

昨年の大差負けの屈辱を跳ね返す意気込みの早稲田クルーでしたが、スタートで離され、苦しいレース展開となりました。後半猛烈に追い込みましたが応援空しく1挺身差で破れ3連敗の結果となりました。

レース終了後は、合流した相模原稲門会のメンバー5名とともにグルメ部会の主催する懇親会に出席し、早稲田大学の善戦を称え、来年の勝利を期して酒を酌み交わしました。

早稲田スポーツ観戦部会長　　狩野俊夫

囲碁部会

1．2月、3月、4月の例会には、夫々、9名、10名、10名が参加され、13：00から17：30まで、熱戦を展開されました。本年、4回すべてに参加されている方は5名、3回が3名でした。
大勢の会員の参加をお願いするところです。

2．校友会囲碁関係の年間行事についてご報告いたします。
4月9日（水）校友会囲碁部会世話人と各区から囲碁部会長数名が参加して、理工学部55号館竹内ラウンジにおいて打ち合わせが行われました。行事の予定は以下の通りです。
＊第14回オール早稲田囲碁祭り
6月8日（日）、日本棋院
＊第13回稲穂囲碁大会
9月28日（日）、学生会館
＊稲門祭の第2回囲碁コーナー
10月19日（日）、場所未定
囲碁会OG宇根川万里江氏（元女流アマ

準優勝）に指導碁をお願いする。自由対局、入門コーナーあり。

＊早稲田祭囲碁コーナー

11月1日（土）、2日（日）

現役学生へのチャレンジコーナー、自由対局コーナー、入門コーナーを設定。

各行事の詳細について案内が来た時点で、目黒稲門会囲碁部会の皆様にご案内をしますので、多くの方の参加をお願いすることになります。

宜しくお願いいたします。

囲碁部会長　　大久保健治

ようこそ！部会活動へ

麻雀部会へのお誘い

麻雀部会長　　鵜野洋治

目黒稲門会が発足し6ヶ月経過した平成11年6月10日、第1回目の麻雀大会が会員相互の親睦を図るため開催されました。

部会長も3代目となり、約20名の会員が参集、自動卓で更なる指と頭の体操に励んでおります。

自動卓も優れもので、相手の持ち点まで即分かります。

本年度より目黒定例部会を年4回、3区（目黒、世田谷、大田）親善大会を年2回、計6回開催します。

1. 定例部会は武蔵小山の雀荘「サン」で、6月16日（月）、8月18日（月）、12月15日（月）に。12月は例会後、忘年会を有志で開催。
2. 3区親善大会は10月25日（土）渋谷の雀荘「スリーハンドレッド」で開催。

何れも12時半より半ちゃん4ゲーム、1回約50分。参加費は3,000円。優勝、準優勝その他賞品多数、且つ、馬券も魅力有です。

又、郵送される案内状にはルールを含めた詳細が明記されておりますので、添付されている葉書に出欠を返信すれば準備完了です。

スリルと脳トレ、是非皆様の積極的参加をお待ちしています。

校友会便り

東京都23区支部大会報告

3月9日（日）午後2時30分より早稲田大学校友会2013年度「東京都23区支部大会」が早稲田にて開催されました。

第1部は大隈小講堂にて文部科学大臣　下村博文氏による講演「日本の教育再生」が行われました。

下村大臣は「教育再生担当大臣」「東京オリンピック・パラリンピック担当大臣」として今最も売れている政治家です。

1時間の講演の後、リーガロイヤルホテル東京の3階に場所を移し、午後4時より第2部の懇親会となりました。会には来賓として鎌田総長が出席され、挨拶に早稲田大学の現況と今後についての話がありました。また、気仙沼の「男山酒造」社長の菅原雅氏からこれまでの23区支部の復興支援に対するお礼の言葉がありました。テーブルには稲門祭でお酒の無償提供の協力をしてくれた酒造メーカー5社のお酒ものせられ、宴を盛り上げ、午後6時に校歌斉唱と中締めで終了しました。

支部大会には来賓を含め299名が参加、我が目黒からは14名が参加。有意義な講演と懇親会を楽しみました。

23区支部担当幹事　　井村正陽

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

HP便り

目黒稲門会は、本年、設立15周年を迎えます。

目黒稲門会ホームページ（HP）のブログの項から『目黒稲門会アーカイブス』をクリックすると過去の全ての会報や発刊物および2009年新年会のビデオハイライト等をご覧いただけます。パスワード等ご不明な点は事務局までお気軽に問合せください。

また、ホームページとともにメーリングリスト（ML）で情報の共有をはかっています。MLとは、決められたアドレスにメールを送ると、ML登録者全員にそのメールが送られる仕組みです。会員名簿にメールアドレスを記載された方はMLに登録済のはずですが、MLのメールが届いていない方・メールアドレスを変更された方・新規に登録をご希望の方は事務局までご一報願います。　　（金井　記）

訃　報

予ねて病気療養中の桜井輝隆　本会相談役は、5月1日　午前11時41分、心不全のため逝去されました。享年85歳。ここに謹んでご報告致しますとともにご冥福をお祈り申し上げます。

事務局長　吉本政治

訃　報

予ねて病気療養中の佐藤喜孝　本会副会長（俳句部会長）は、5月18日　午後12時40分、肺炎のため逝去されました。享年72歳。ここに謹んでご報告致しますとともにご冥福をお祈り申し上げます。

事務局長　吉本政治

会員の広場

家庭菜園におけるシニアライフ

岩崎春雄　（平成12年　法研）

≪はじめに≫

家庭菜園には、四季折々の野菜を自分の力で育てると言う喜びがあります。自然と向き合い菜園で土を耕すことは、人生を豊かにします。それは、菜園作りで心身ともに満たされ、自然と親しむことで究極的な人生の喜びを感じさせるからです。ことに5月頃から、菜園の周囲はそれぞれの野菜や草花の種類も多く、色鮮やかで癒されます。苗植時には季節の収穫期を考慮し、夏にはトマトやキュウリ等、初冬は里芋や大根の収穫がとても楽しみです。

しかし、家庭菜園で作物を育てることは決して楽しいことばかりではありません。季候の変化により野菜の出来具合も毎年違います。そこで、土壌と対話し、プラス志向で農地を耕やさざるを得ません。この作物はどんな野菜に育っていくのか、とても楽しみです。これが、同一趣味の仲間とともに余生に与えられた楽しみの一つであり、正に「楽園」に変わるといっても過言ではありません。

≪経　緯≫

家庭菜園での野菜作りは、生家が東北で農業を営んでいるため、60才代後半になってから始めました。最初は、自宅のプランタで僅かな野菜を作りました。そのうち、狭いプランタでは野菜作りに限界があることを自得した。そこで区民農園の賃貸募集に応募して見事に当選しました。

しかし、菜園での作業は外見上と実際に農耕するのでは相当の乖離がありました。筆者は農業が未経験であり、苦労の連続でした。そして、昨年は区民農園も2区画（1区画8平方㍍）当選したため、本会会員から有志者を募り、5人で農地を耕すことになりました。会員は筆者を含め5人です。全員が素人です。会員は、初心者ながら季節ごとに作物を収穫し、一定の成果があったと思われます。野菜は新鮮で美味しく、自分たちが手塩をかけて作ったという自負と充実感があります。

≪目　的≫

筆者はこれまでの菜園経験を踏まえ、有志会員の増加と本会部会への昇格を目指したいと願っています。そして、1人でも多くの会員が家庭菜園でシニアライフを楽しんでもらうことが目的です。

しかし農地の確保など大きな課題があり、その諸問題がネックとなっています。それは、現実問題として回避することが出来ません。

≪今後の課題≫

家庭菜園を行うには、大きな問題が2つあります。

第1に、農地の安定した賃貸確保が難しい事です。

目黒区内の土地は高価のため民間人が安価で賃貸してくれる農地は皆無といってよいでしょう。そこで、唯一の土地確保は区民農園の公募で当選することが必要条件となります。当然のことながら農地の確保なくして菜園を耕すことはあり得ません。今年度も運よく2区画の当選が確定しました。去年の経験を生かして、より良い作物を作りたいと思っています。

また、豊かな土地を耕すには、3年かかると言われています。この区民農園は長期間利用が可能であれば、新たに丹精込めた野菜作りができると思います。しかし、それは夢であろう。

第2に、作物は天候に大きく左右されることです。ことに昨年夏は日照期間が長く、水遣りと雑草取りを頻繁に行う必要がありました。各会員は自宅から菜園まで遠いため、どうしても遠慮がちになりました。しかし、これらの苦難を乗り越えて作物を収穫したときは、喜びも大きく変わりました。

最後に、菜園における晴耕雨読の生活はシニアライフを心豊かにする最良の健康法であると言えます。

特別記事

福島県被災地稲門会激励交流ツアー

――「現地に来て下さい」――

安藤　孝　（昭和46年　商）

「あの日は地区の豊間中学校での卒業式が無事に終わり、皆さんとのんびりしていた午後でした。」と、話始めたのは震災語り部のＳさんでした。

平成23年３月11日（金）14：46三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震が発生しました。

私たちが訪れたのは、福島県いわき市の東南部に位置する薄磯という地区でした。塩屋岬を望む太平洋に面する風光明媚な所でした…が、あの日以来風景は一変してしまいました。

「地震の揺れが収まると地区の住民は高台に向かって避難を始めました。しかし20分経っても津波警報が出ていないとの判断で、自宅に戻る人が多くなりました。（実は警報は発令されていましたが地区の防災無線が地震で不能になっていました。）私も経営している民宿の後片付けにもどりました。その最中ふと海の方を見ると、水平線上に黒い塀の様なものが見え大きくなって近づいて来ました。見たこともない光景でした。急いで２階にかけ上がった直後、津波は１階部分を襲いました。私の家は比較的高い所にあるのでその程度で済みましたが、海岸沿いの家屋は根こそぎ津波に呑まれてしまいました。」

マグニチュード６強の地震発生から約40分後、津波の高さは推定8.5mで壊滅的な被害を受けました（薄磯地区データ）。

「翌12日から犠牲者の確認作業が始まりました。この地区は約700名が生活していましたがその２割以上の人命が失われました。私は殆ど全ての住民と顔見知りでしたので、全てのご遺体の身元確認に立ち会いました。当初は涙が止まらなかったその作業も数日後には何も思わなくなってしまいました。穏やかな日和には三々五々海岸に集まりおしゃべりしていた仲間達の顔もありました。」

現在　地域はがれきの撤去も終わり、一面の荒地には住居の基礎があちこちに残されているのみでした。中学校の校舎・体育館は一見そのままでしたが１階は津波にやられ柱しかありませんでした。校庭は土砂の堆積場となっており重機が入っていました。

「私の家は幸いに残りましたので11月には営業を再会できましたが、未だに多くの住民が避難生活を強いられています。また元の暮らしに戻るにはどのくらいの年月を要するのか解りません。それでもいつかは震災以前の薄磯海岸に必ずやなります。」

最後にＳさんはこう言いました。

「私は震災語り部として一人でも多くの方に見ていただき、聞いていただき、感じていただきたく願っています。決して忘れていただきたくない。是非現地に来て下さい。そして住み慣れた土地での再建を目指す我々を励まして下さい。」

ご承知の通り福島県は原発被害も受けております。比較的放射線量の少ないいわき市へは県内からの避難者が増えているそうです。

福島県近海の水産物は未だに市場に出せない状況です。小名浜漁港は整備されましたが、四ッ倉漁港はほとんど手つかずの状況でした。

夜は、いわき稲門会・郡山稲門会と交流しました。宴席での肴には残念ながら地元の魚は供されませんでした。

久ノ浜小学校の校庭には浜風商店街と銘打つ仮設店舗が営業していました。マスコミにも取り上げられており、有名人のサイン色紙も飾られていました。

いわき市石炭・化石館では、エレベーターで一気に地下600ｍまで下りる（？）と当時の常磐炭鉱での採掘現場の様子を見学することができます。

浮体式洋上風力発電システムが運転開始され、福島県の復興の推進力にもなっています。その他の再生可能エネルギーの開発・導入でも産業創出が図られているそうです。

最後になりましたが、訪れた地域のみならず被災した各県各地の早期の復興を願います。

以上、平成26年２月21日（金）～22日（土）に早大校友会23区支部主催のツアーに参加して、いわき市を訪問した際の報告でした。

樋口定廣さんを偲ぶ

元相談役　　阿部喜久雄

平成11年10月、突然早稲田大学校友会から書翰が送られてきた。主旨は、目黒が稲門会の設立が遅れているので、そのことについて打ち合わせをしたいから至急参集されたいとのこと。

指定当日、指名された８名が大学に出向き、校友会指導のもと目黒稲門会創立に取りかかった。そのときが樋口氏との初対面だった。

何回か会合を重ねているうちに、２人共、軍隊生活体験者としての時代を共有しており意気投合、互いに「俺・お前」「阿部・樋口」と呼び捨てにするほどの仲となっていった。

彼は昨夏から体調を崩し入退院を繰り返していたが、一時緩解の病態に見えたのも束の間、遂に帰らぬ人になってしまった。目黒稲門会の初代事務局長として奮闘し、事務部門は勿論、会の運営にも寄与した彼の功績は大きい。

彼と最後に会ったのは、彼が天に召される前日だった。ご子息(早大卒)の許しを得て別れの握手をした。「樋口！！」…既に意識はなかった。

止めどもなく滂沱と頬を伝う涙を私はどうすることも出来なかった。掛け替えのない友の逝去を悼み、拙い一句を捧げる。

大声と共に飛び逝く涅槃西風

合掌

平成22年10月17日　稲門祭にて　左・樋口、右・筆者（阿部）

相談役　　浅海敏之

「定廣、今日も帰らず」お酒が入ると、良く言われていた。親父の日記帳に書いてあったんだと。俺も若いときは元気だったんだよと。本日、訃報を伺い「定廣、永久に帰らず」あの元気な声が二度と聴けないのは、寂しい。

目黒稲門会発足の会合で、なかなか人事が決まらない時、僕が事務局を引き受けよう、電話も１本稲門会専用に提供しましょうと。その一言で重苦しい雰囲気が一気にとけて、ほかの役職が決まっていったのが、昨日のように思い出される。

発足当時の稲門祭の景品はすべて大学から事務局に運んだ。その品物を樋口さんがベンツのスポーツカーで、一軒一軒住所を調べ、地図を見ながら配って回った。当時8?歳の樋口さんがベンツのスポーツカーで颯爽と現れたとき、何と素敵な先輩だろうと、あこがれを感じたのを覚えている。もう、お会い出来ないと思うと残念でならない。こんにちの稲門会のあるのは樋口さんのお蔭だと思っている。

樋口先輩ありがとう。さようなら。ごゆっくりおやすみ下さい。　　合掌

新入会員

加藤丈太郎　（平成16年　教育）
（世田谷区新町在住）
趣味：シーカヤック

若木会の活動に中西元樹さんにお誘いいただいたことがきっかけで目黒稲門会に入会することになりました。よろしくお願いいたします。

稲垣美智　（平成元年　教育）
（目黒区平町在住）
趣味：読書　街歩き　食べ歩き

都立大学に2013年夏に越してきました。落ち着いた大人の街なので気に入っています。23区別に稲門会があることを知り、入会しようと思いました。よろしくお願いいたします。

豊田介山　（昭和44年　理工）
（目黒区東山在住）
趣味：ゴルフ

目黒区大橋にて昭和57年から自営業（不動産）を営んでいます。目黒稲門会には浅海相談役の知人のご紹介で入会することになりました。

宮村直身　（昭和49年　理工）
（目黒区八雲在住）
趣味：旅行　麻雀　食べ歩き

以前に入会申込書を受け取りながら、数年間放置していました。八雲住区センターで吉本事務局長とお会いし、入会を申し込むことにしました。

編集後記

１月に亡くなられた樋口定廣　元相談役への追悼文を掲載させて頂きました。いつも我々を温かく励まして下さる大変優しい大先輩でした。

心からご冥福をお祈り申し上げます。（地田　記）